

高校生企画

11/2[日]
13:00-

U-18! 仙台の高校生が魅せる、熱い映画たち

仙台工業高校模写部

作品上映
ダンダン 2013年|カラー|4分18秒
ダンダン2 2014年|カラー|4分30秒
マジカルピース 2013年|カラー|2分11秒
レインボーゾーン ほかに全5本



少年と小さなロボットの学園ライフをほのぼのと綴った『ダンダン』、『ダンダン2』。禁断の箱を見つけた魔法使いが、中から現れた不思議なピース達と戯れる『マジカルピース』など、現在鋭意制作中の作品を含め5作品を上演する。

仙台工業高校模写部プロフィール

部員数は現在19名。プラモデルなどの模型製作、模型を使ったコマの撮りアニメ製作、近隣の小学校や児童館などで小学生対象のコマ展覧会のワークショップを開くボランティア活動と、主に3つの活動を行っている。映像製作のきっかけは、部員の激減と東日本大震災。部員数前年より減ったが、起死回生の策として、顧問の下村先生率いる当時の先輩方が模型の撮影を始めた。これが転機となり、NHKや河北新報でも活動が紹介された。現在も、作品の精度を高めるため、日々研究、奮闘中。

東北生活文化大学高等学校

かみひこうき

2014年|6分53秒|監督:佐藤幸

とある放課後、あかりは、親友の理恵を探しに体育館へ行き、偶然出会った宗太に惹かれてゆく。数日後、あかりの私物が消えるようになり…。

ポテチ

2014年|カラー|10分1秒|監督:岡崎千晴

勇気を出して告白したものの、あけなふくられた花子。ポテチを食べていると、突然ポテチがしゃべり始めた。ポテチは「ポテチの精」と名乗り、なんでも願いを叶えてくれるが…。

あきはれ

2014年|カラー|11分22秒|監督:菅野あかり

進路に悩む天野誠は、同じクラスの加原実乃莉のことが気になっていた。毎日一人で図書室で本を読む彼女に、ある日誠は、勇気を出して声を掛ける。「何読んでの?」共に過ごすうちに、誠は彼女のことを知り始めた。そして実乃莉は、誠にある秘密を打ちあける。

あの子の席

東北生活文化大学高等学校・映画制作ワークショップ作品



2014年|カラー|BD|17分|出演:佐藤 常盤 泉央/川崎春香|プロデューサー:倉本 郁哉|撮影:村橋佳伸|照明:太田博|録音:古茂田耕吉|ヘアメイク:須見有樹子|東北生活文化大学高等学校生徒20名|音楽:中田真由美|製作:東北生活文化大学高等学校|脚本・監督:片岡翔

美術部の習は、放課後の教室で、自分の机に頬を寄せているクラスメイトに気づく。何かを想うような儚げな表情。そんな姿が氣に掛かり、習は彼女の絵を描き始める。

学校サークルプロフィール

【東北生活文化大学高等学校美術・デザイン科】平成13年度に普通科美術コースとしてスタートし、河北美術展における河北賞受賞など多方面で活躍している。平成25年度に「美術・デザイン科」を新設。美術領域とデザイン領域を柱に幅広い専門教育を展開し、豊かな感性力・創造力・コミュニケーション能力を養うことをめざして新たにスタートした。

映画製作のきっかけ
2013年に、片岡翔監督を講師とした映画制作ワークショップを開催。これを機に、美術・デザイン科の生徒がチームを組み、短編映画を毎年製作している。

片岡翔[かたかしょう]

82年北海道札幌市出身。「くらげくん」が13歳を達成するなど、多数の映画賞で受賞を重ね。本年1月、初の長編『11/11 じゅういちぶんのいち』で商業デビュー。「『面白いソウ』」「鬼灯さん家のアネキ」などの脚本も担当している。

在仙高校生が制作した映画を、もっとたくさんの人たちに、知って・観て・応援してもらいたい!応援企画として、そんな未来の巨匠たちと一緒に観たい、今現在活躍中の監督たちの初期作品も併せて上映します。はじまりは、誰にでもあるのです。

小夜曲

1985年|カラー|4分|演出:アニメーション・美術:山村浩二

1985年|カラー|2分|演出:アニメーション・美術:山村浩二

1987年|カラー|2分|演出:アニメーション・美術:山村浩二

1987年|カラー|5分|演出:アニメーション・美術:山村浩二|音楽:高沢寛

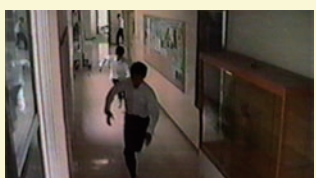


「頭山」等で知られる、日本を代表するアニメーション作家、山村浩二。大学時代の貴重な短編アニメーション作品をセレクト。

山村浩二[やまむらこうじ]

64年名古屋生まれ。02年制作「頭山」が、世界の主要なアニメーション映画祭で6つのグランプリを受賞、第75回アカデミー賞にノミネートされる。また「カフカ 田舎医者の7つのグランプリ」を受賞。これまで国際的な受賞は80を超える。11年にカナダ国立映画制作庁との共同制作「マイブリッジの糸」が完成した。東京藝術大学等で後進の指導にあたるほか、絵本家としても活躍。

1999



1999年|カラー|サイレント|DV|3分|監督:三宅唱|撮影:木村英太|出演:三宅唱/山下智史/小林秀俊/小谷公二

中学3年のときに初めてつくったビデオ作品。校舎を走り回る、追われる男と追う男。「撮影のイロハをすべて自分たちでゼロから考え、あまりに楽しくて知恵熱が出た。この経験がなければ今がない、と心底思える」と監督は語る。

三宅唱[みやけしょう]

84年札幌生まれ。07年映画美術学校フィクションコース初等科修了。09年一橋大を卒業。10年、初長編「やくだたず」を監督した。12年の第二作「Playback」は、ロカルノ国際映画祭国際タンナショナル・コンペティション部門に正式出品され、高崎映画祭新進監督グランプリ、日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞を受賞。

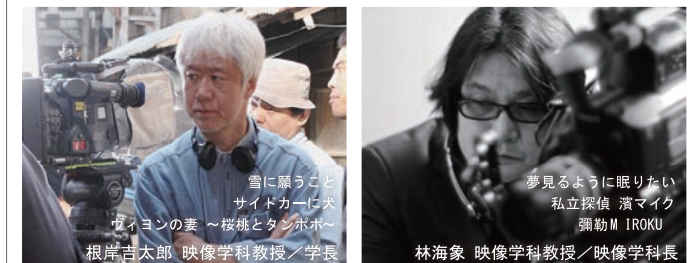
●当日は諸事情により、プログラムの内容やゲスト、スケジュールの変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。



せんだい・宮城フィルムコミッション
Sendai Miyagi Film Commission
〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-3-9-3F(公益財団法人 仙台観光コンベンション協会内)
TEL.022-268-9603 FAX.022-268-6252
E-mail: info@sendai-miyagi-fc.jp http://www.sendai-miyagi-fc.jp/
せんだい・宮城フィルムコミッションでは撮影の際にご協力いただけるエキストラボランティア及びロケ候補地を募集しております!!詳しくはHPをご覧ください。

東北芸術工科大学

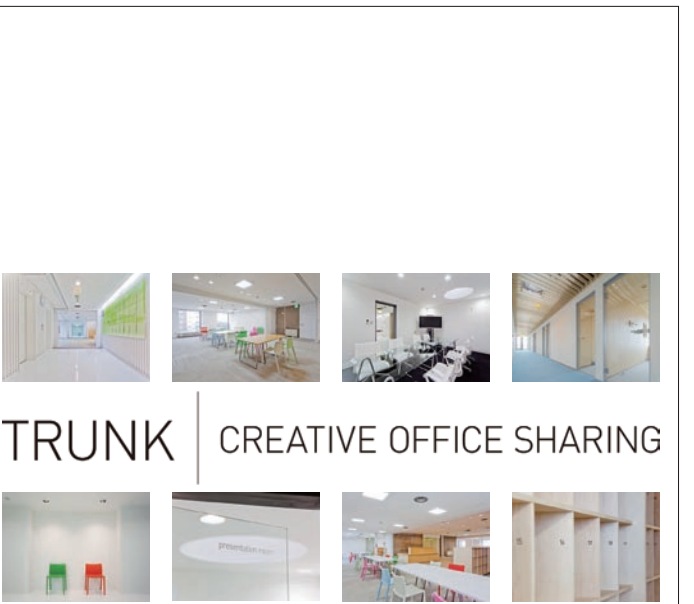
現役監督が教授として直接指導する、映像学科。



菅原 吉太郎 映像学科教授/学長
ダイワハウス TVCM
シャネル たかたか TVCM
マスカットカード TVC M
多岐直樹 映像学科教授
海海象 映像学科教授/映像学科長
夢見るように眠らない
私立探偵 演マイク
藤助 M. IROKU
王冠少年
0000L
天守テレビくん スペシャル
菅井志志 映像学科准教授



お問い合わせ ☎
仙台短編映画祭実行委員会 | 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
Tel: 080-3146-6085(留守電折返)/E-mail: info@shortpiece.com/ 仙台短編映画祭ウェブサイト http://www.shortpiece.com/

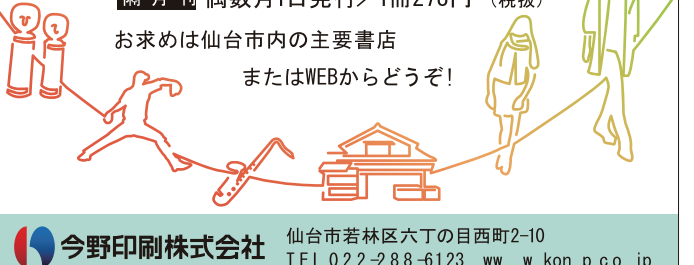


TRUNK CREATIVE OFFICE SHARING

協同組合仙台卸商センター 〒984-8651
仙台市若林区卸町2-15-2 卸会館 5F
TEL: 022-237-7232
FAX: 022-385-7841
e-mail: info@trunk-cos.com
url: http://www.trunk-cos.com
会員募集中



秋冷号 10.1 発売!
隔月刊 偶数月1日発行/1冊278円(税抜)
お求めは仙台市内の主要書店
またはWEBからどうぞ!



仙台短編映画祭実行委員会 | 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
Tel: 080-3146-6085(留守電折返)/E-mail: info@shortpiece.com/ 仙台短編映画祭ウェブサイト http://www.shortpiece.com/

この紙はリサイクル紙です。

主催: 仙台短編映画祭実行委員会
共催: せんだいメディアテーク
後援: 河北新報社
仙台放送
S-style
K-13東北放送
仙台放送局
TBC東北放送
ラジオ3 FM76.2
エフエム仙台
仙台リビング新聞社
朝日新聞仙台総局
読売新聞東北総局
毎日新聞仙台支局
産経新聞東北総局
日本経済新聞社仙台支局
仙台市教育委員会
仙台南工芸会館
協賛: せんだい・宮城フィルムコミッション
東北芸術工科大学
今野印刷株式会社
協同組合仙台卸商センター
◆ へ・あ・こ ◆
東北芸術工科大学
仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク1階 KANEIRI Museum Shop 6
e+ (イープラス)
児童情報
託児マーク(☆)がついているプログラムでは、託児がご利用できます。
事前お申込制(1歳半〜未就学児が対象・子ども1人150円・定員8名
ご希望の方は、Faxまたは電子メールにて、氏名・住所・電話番号・お子様の年齢(月齢まで)・希望回を添え、10月21日(火)までににお申込みください。
お申込先(せんだいメディアテーク 仙台短編映画祭託児係)
Fax: 022-713-4482 E-mail: office@sm.city.sendai.jp
kawat by masayoshi yamamoto
株式会社ヤマトマネキン
Ordet
Green Leaves/Wake Up, Girls! 製作委員会
助成: 芸術文化振興基金
公益財団法人カメイ社会教育振興財団[仙台市]

kawat by masayoshi yamamoto
株式会社ヤマトマネキン
Ordet
Green Leaves/Wake Up, Girls! 製作委員会
助成: 芸術文化振興基金
公益財団法人カメイ社会教育振興財団[仙台市]

kawat by masayoshi yamamoto
株式会社ヤマトマネキン
Ordet
Green Leaves/Wake Up, Girls! 製作委員会
助成: 芸術文化振興基金
公益財団法人カメイ社会教育振興財団[仙台市]



仙台短編映画祭実行委員会
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
Tel: 080-3146-6085 / info@shortpiece.com
http://www.shortpiece.com/

今日しか会えない映画祭

SENDAI SHORT FILM FESTIVAL
2014年11月1日(土)〜3日(祝・月)
せんだいメディアテーク



仙台短編映画祭実行委員会
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
Tel: 080-3146-6085 / info@shortpiece.com
http://www.shortpiece.com/

仙台 Sendai
短編 Short
映画 Film
祭 Festival
2014 2014

チケット販売
前売 | 3プログラム回数券 = 2,500円(100セット限定)
●回数券はA〜Iプログラムで利用できます。
全日フリーパス = 4,000円(30セット限定)
●フリーパスは全プログラムおよび交流会で利用できます。
当日 | 1プログラム券 = 1,000円/小学生以下800円
●年齢カード(豊後手帳)・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで800円となります。
(Gプログラムは全ての方が500円となります。)

プレイガイド
10月1日(水)発売[回数券、フリーパスのみ]
●せんだいメディアテーク1階 KANEIRI Museum Shop 6
e+ (イープラス)

託児情報
託児マーク(☆)がついているプログラムでは、託児がご利用できます。
事前お申込制(1歳半〜未就学児が対象・子ども1人150円・定員8名
ご希望の方は、Faxまたは電子メールにて、氏名・住所・電話番号・お子様の年齢(月齢まで)・希望回を添え、10月21日(火)までににお申込みください。
お申込先(せんだいメディアテーク 仙台短編映画祭託児係)
Fax: 022-713-4482 E-mail: office@sm.city.sendai.jp

チケットの購入・引換えについて
●当日券の販売および回数券の引換えは、各日10:00より7階スタジオシアター前会場受付にて行います。
●当日券は、その日1日分のチケットが購入できます。
●フリーパス・回数券は、入場を優先するものではありません。
●フリーパス・回数券をお持ちの方も、当日の受付にて、ご覧になるプログラムチケットとの引換えが必要です。
●チケットのナンバーは、入場順ではありません。
●160席・全席自由・入替制・各回とも、開場は上映の15分前となります(Gプログラムのみ30分前開場)。
●満席の場合は、入場をお断りすることがございます。ご了承ください。
●理由の如何を問わず、チケットの再発行には対応しかねます。

アクセス
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク
地下鉄 | 仙台駅から泉中央まで3分、勾当台公園駅下車。「公園2」出口から徒歩6分。
バス | 仙台市営バス仙台駅前29番(庄内銀行前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局馬場病院」行で約10分。メディアテーク前下車。
徒歩 | 仙台駅より約20分(約1.8km)



1階
オープンスクエア

今年も、様々な角度から映画を楽しむ・味わう企画を取り揃えました。映画を観て、聴いて、話して…映画祭ならではの体験を、是非どうぞ。

タイムテーブル Time table

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
11/1 [土]	7F シアター メディアスタジオ 1F スクエア	メディア芸術祭		Bプログラム 直井卓俊 トーク	311 明日		メディア芸術祭				
11/2 [日]	7F シアター メディアスタジオ 1F スクエア	メディア芸術祭		Dプログラム(☆)		Eプログラム		Fプログラム			
11/3 [祝・月]	7F シアター メディアスタジオ 1F スクエア	メディア芸術祭		6プログラム(☆) バリアフリー	311 明日		Hプログラム(☆)		Iプログラム		

11/1[土]
19:15-
オープニングパーティー
ゲストを交え、映画祭で様々な人が繋がるパーティ。今年もやります! 仙台自慢の味勘えはもちろん、様々な趣向を用意しています。朝から観た人も、明日から観る人も、どうぞお気軽にご参加ください。
●参加費: 500円

11/2[日]
19:00-
スライドショー上映会
Sendai Photo Music
日時: 2014年11月2日(日) 19:00-20:30(予定)
場所: せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
入場料: 無料(予約不要・直接会場にお越しください)
定員: 100名 | 出演: 渡邊琢磨(piano)[予定]/佐々木龍大(guitar)/APE TOPE(DJ)
企画: つれづれ団 http://tsurezuretan.com/

3.11以降の仙台を切りとった写真の数々を、仙台・盛岡のアーティストによる即興音楽に乗せ、スライド上映します。
写真募集 — あなたの写真を、大きなスクリーンに映し出してみませんか? —
募集内容: 2011年3月11日以降の、仙台の暮らし・風景、あなたが気に入っているもの・人を撮影した写真(電子データの形式)
締め切り: 2014年10月5日(日) 17:00まで
送り先: sendaitanpen2014.photo@gmail.com(メールアドレス、名前・郵便番号/住所を明記してください)
●送付枚数は最大3枚、容量は1枚につき1MB以上をお願いします。
●応募枚数や内容によって、採用されない場合がございます。また、採用の可否にかかわらず、お送りいただいた写真データはお返ししかねます。予めご了承ください。

7階

sendai mediatheque 7th floor studio 1st floor open square

スタジオシアター スタジオa,b

14年目を迎えたショートピース！
今年も気鋭の新作、往年の秀作達がスクリーンに集います。
多くの才能、それぞれの映画が生み出す「今」、
そして「これから」を感じてください。

※当日は諸事情により、プログラムの内容やゲスト、スケジュールの変更がある場合がございます。
あらかじめご了承ください。

11/1[土]ー3[祝・月]
1F, 7Fにて随時上映

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業
文化庁メディア芸術祭
受賞作上映(無料プログラム)

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において
優れた作品を顕彰し、受賞作品をより
多くの人へ届けるメディア芸術の
総合フェスティバル。文化庁メディア
芸術祭の受賞作品・審査委員会推薦
作品の中から、5つのプログラムを1
F・7F会場で上映します。



CAFE
SPACE
DINNING

貸切・パーティーは定禅寺通スタイルス
TEL 022-225-066 MAIL info@stylus-cr.net

Stylus

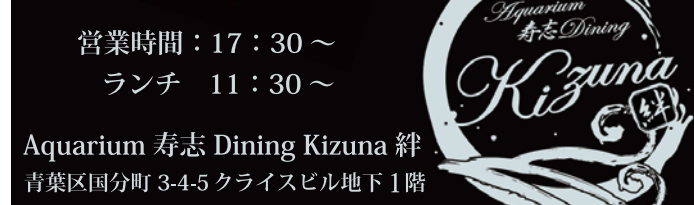
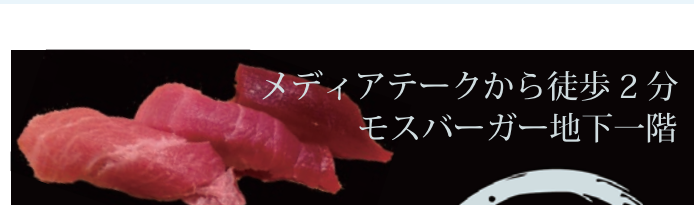
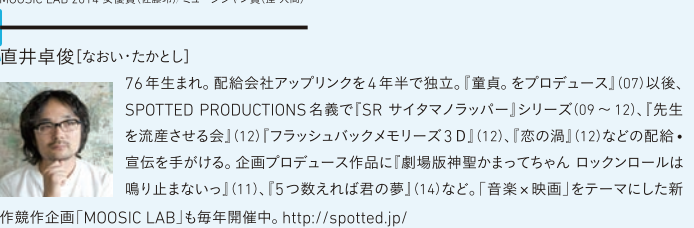
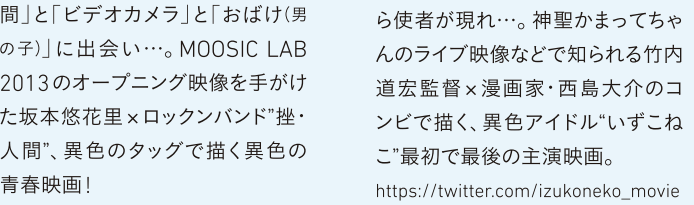
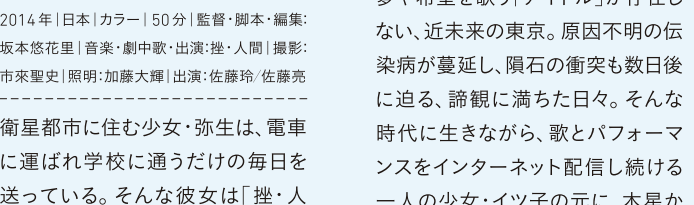
3F
Stylus
スタイラス
wi-fi 電源 音響 映像

アフターパーティー・2次会から
プロモーション・カンファレンス・展示の場
としてご利用いただけます。

メディアテーク横 SK ビル定禅寺8F

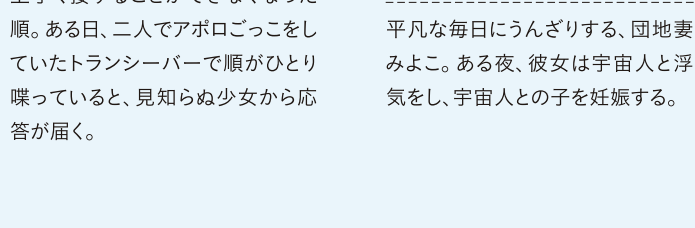
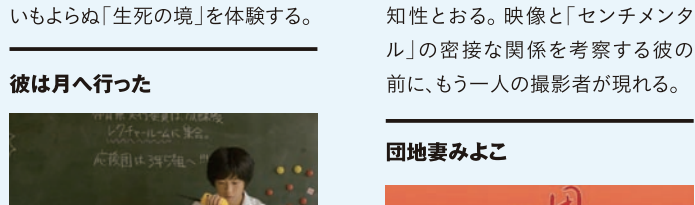
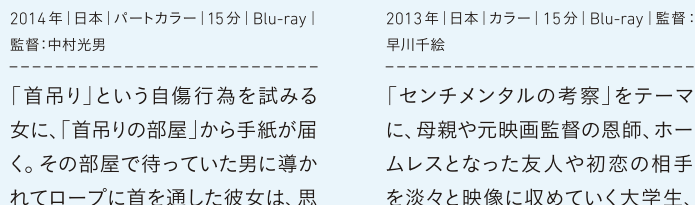
11/1[土]
11:00-
仕掛ける男、直井卓俊の挑戦

入江悠監督、松江哲明監督をはじめ日本映画を牽引する若手監督たちを見出し、常に新しい映画を世に送り続ける男・直井卓俊。音楽と映画のコラボレーション作品の上映とともに、「日本映画の今と未来」への熱い思いを語っていただきます。
・プログラム上映後7Fスタジオbにてトークイベントがあります。是非ご参加下さい！



11/1[土]
14:30-
新しい才能に出会う

本映画祭の看板、公募プログラム。国内外から寄せられた168本から、みんなで観たい、話したい4作品を選びすぎりました。選出作を上映後、気鋭のプロデューサー・直井卓俊さんと4監督を交え、作品や映画について語り合います。新しい才能がめざめる瞬間を、お見逃しなく。



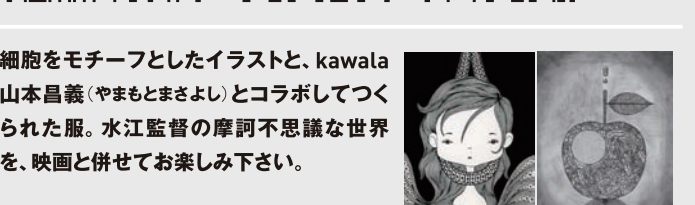
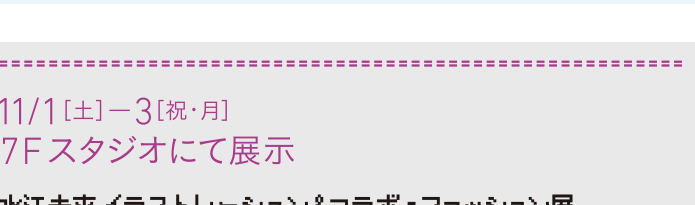
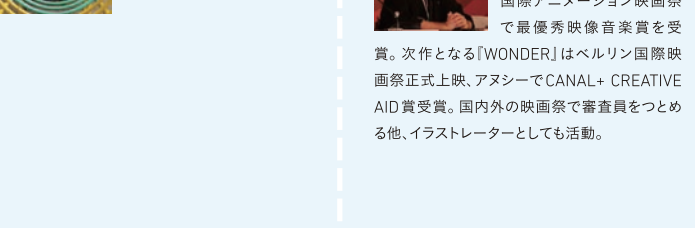
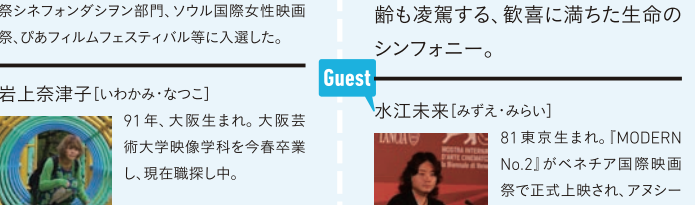
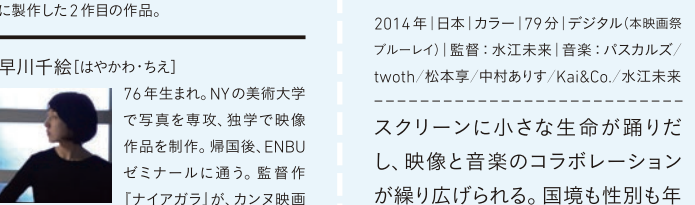
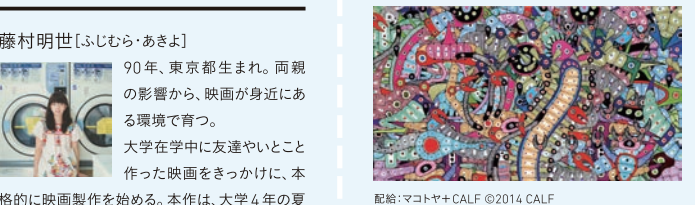
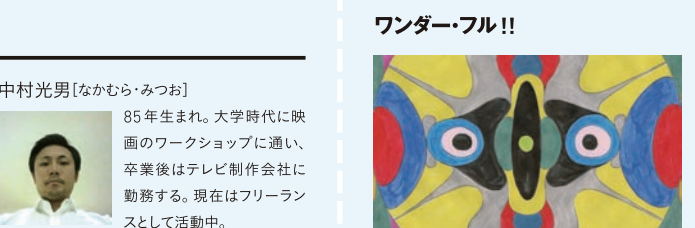
11/1[土]ー3[祝・月]
1F, 7Fにて随時上映

311明日上映(無料プログラム)

2011年、震災後の春。映画が観たい、映画祭がやりたい、映画をつくってほしい...そんな仙台の声を受け止めてくれた、41人の監督たち。3分11秒という時間の中で、それぞれが3月11日や自身と向き合い、葛藤しながら綴った42本のオムニバス作品「311 明日」を再び上映します。2014年の今、本作から、あの時から、どんな「明日」が映し出されるのか。初めての方もそうでない方も、この機会に是非ご覧ください。

11/1[土]
17:00-
水江未来監督作品
ワンダー・フル！！

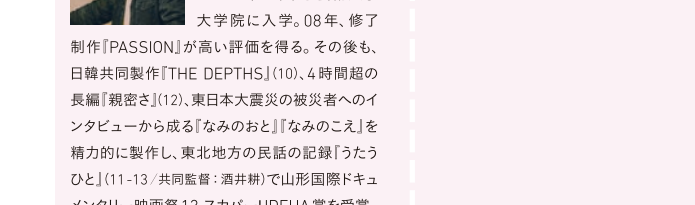
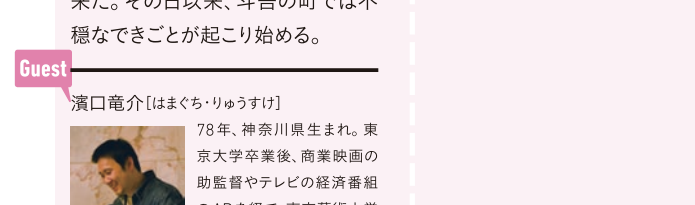
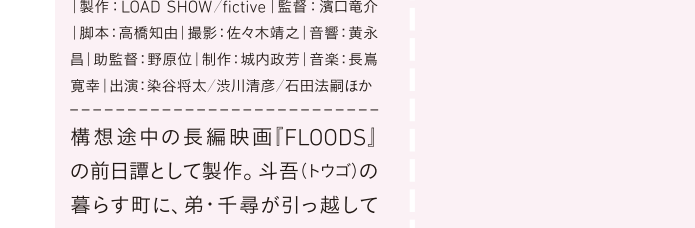
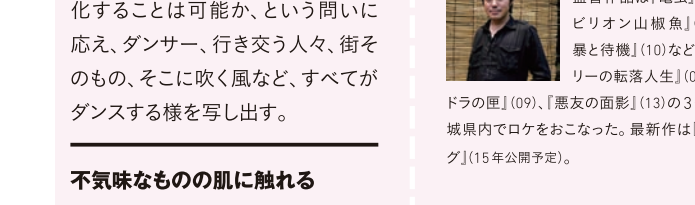
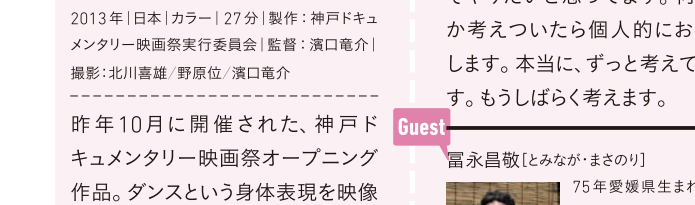
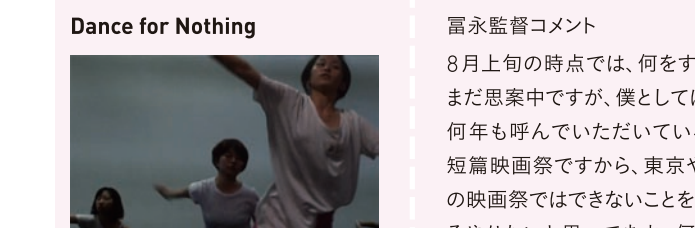
03年のデビュー作から、パスカルズが音楽をつけた最新作「WONDER」までの14作品を編集しサウンドと画角を調整、コンセプトアルバム映像として長編作品化。水江作品の世界に踊り、溺れてください。



©MIRAI MIZUE

11/2[日]
11:00-
「語り・静」から「身体・動」へ。
おがえりなさい、濱口竜介監督

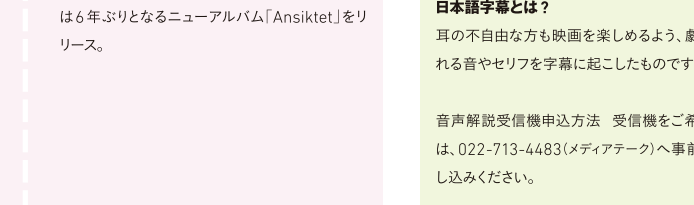
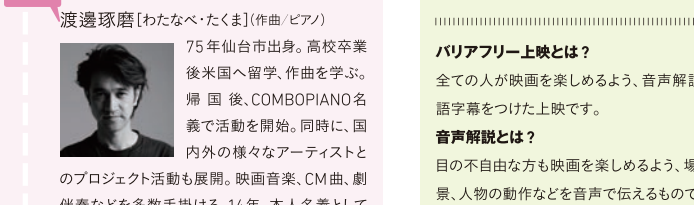
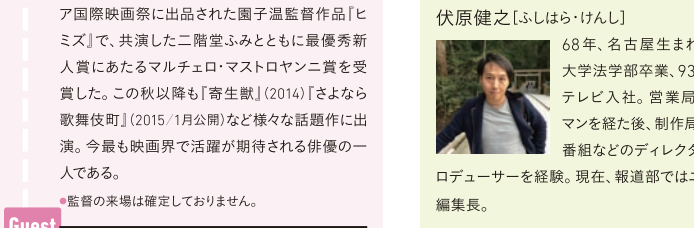
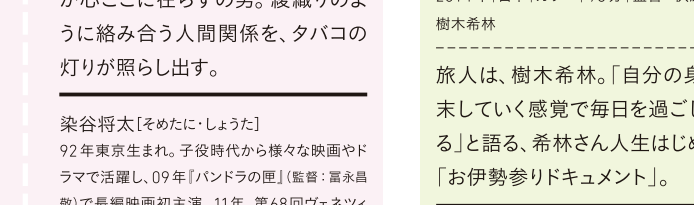
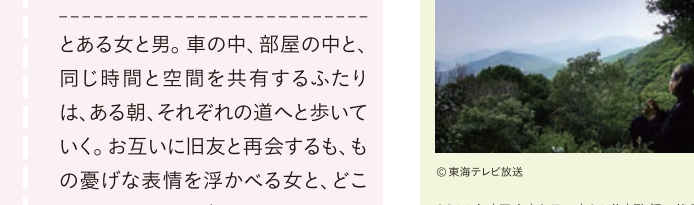
震災以降仙台にとどまり、酒井耕監督と共に作り上げた東北記録映画三部作が高く評価された濱口監督。この秋、新たな場所で生まれた映画を携え、再び仙台へ、映画×場所によって自在に表現を変える、濱口作品の魅力に迫ります。



©MIRAI MIZUE

11/2[日]
15:00-
富永監督、
今年も新作って本当ですか？

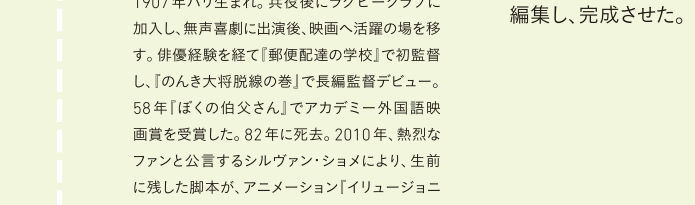
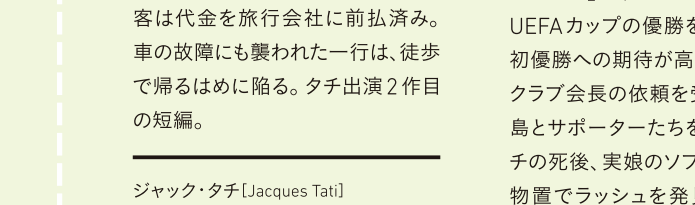
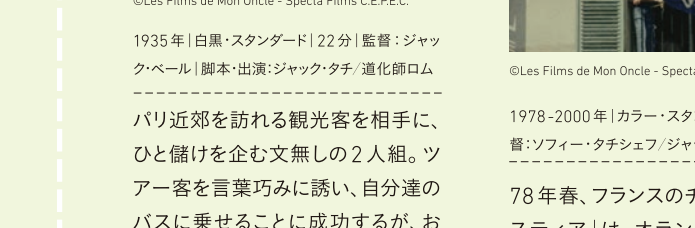
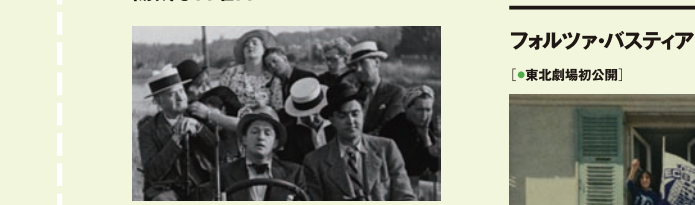
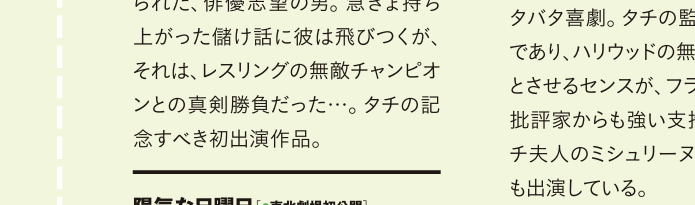
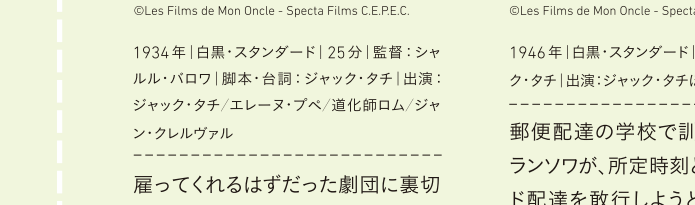
震災のあった2011年以降、毎年仙台短編映画祭に新しい作品と渡辺琢磨。注目の短篇を、この日限りのライブ付きで上映。映画×音楽が生み出す、新たな世界を体感せよ！



©MIRAI MIZUE

11/3[祝・月]
10:30-
神宮希林 わたしの神様
※料金:500円 人

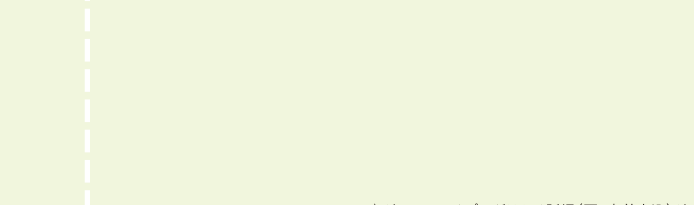
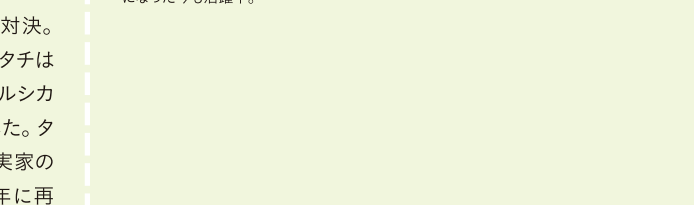
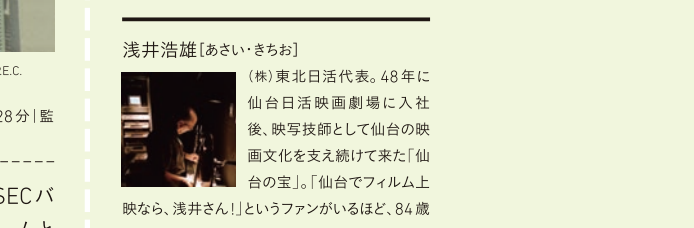
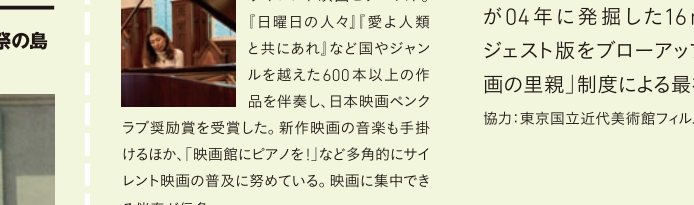
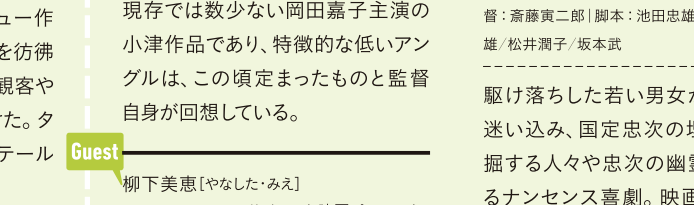
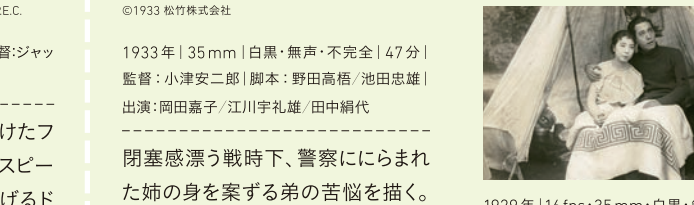
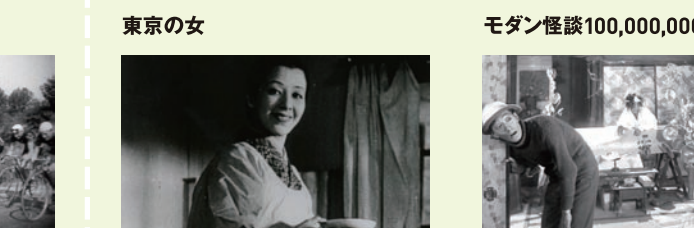
毎年、ボランティアの協力を得て、良質の邦画をお届けしてきたバリアフリープログラム。今年は、女優樹木希林が、20年に一度の式年運営を機に、はじめて伊勢を旅するドキュメンタリーです。



©MIRAI MIZUE

11/3[祝・月]
15:40-
ジャック・タチ、大好きなぼくらの伯父さん！

世界中にファンを持つ、ジャック・タチ。初期から晩年までの短篇を、東北初上映作品を含め一挙上映します。魅せる・楽しませる映画をつくり続けた映画の伯父さん、タチの映画人生を、さあ、一緒に。



©MIRAI MIZUE